

窒息事故防止のために注意が必要な食品

普段何気なく使用している食材でも、嚥下機能の未熟な赤ちゃんにとっては食べにくい食品や、消化器官の発達も未発達な為、離乳食に向かない食品、大きさによっては窒息事故に繋がってしまうため注意が必要な食品がいくつかあります。今回は窒息事故防止の為に注意が必要な食品について、紹介したいと思います。

この時期には与えない食べ物（5歳頃まで）

ピーナッツなどの硬い豆ナッツ類など



弾力性が高い食べ物

もち、こんにゃく、いか、たこ、かまぼこ、ちくわなど



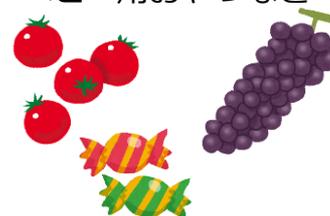
水分が少なく硬い食べ物

生のリンゴ、生の人参、たくあん、お煎餅など

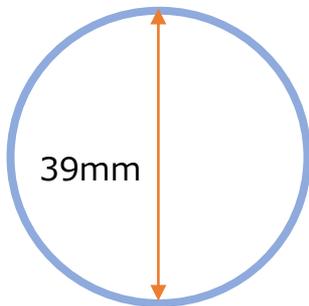


そのまま飲み込める大きさの食べ物

ミニトマト、あめ、丸いままのブドウ、ポップコーン、ベビー用おやつなど



3歳児の最大口径



3歳児の口から喉の奥の長さ

51mm



3歳の赤ちゃんが口を開けた時の最大口径は39mm、喉の奥までは51mmありますので、その値を誤嚥防止の目安にしましょう。この円の中に隠れるものは飲み込んだり、窒息する危険があります。床から1m以上の高い場所に置くようにしてください。